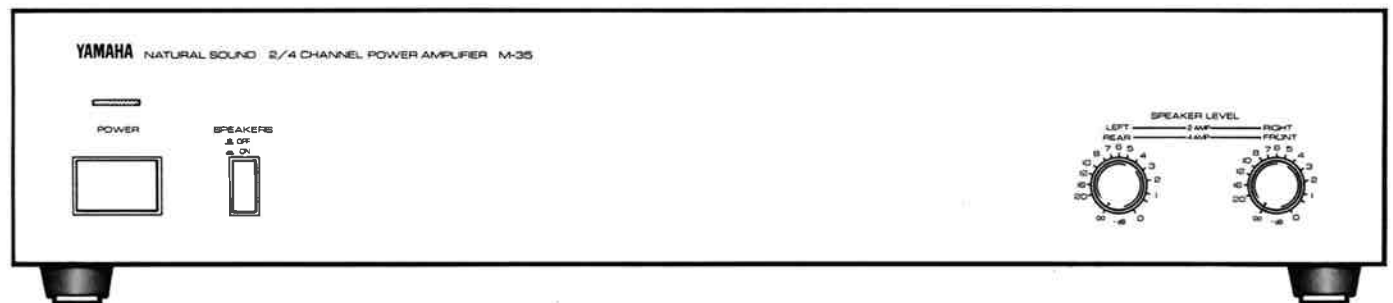


# M-35

NATURAL SOUND 2/4 CHANNEL POWER AMPLIFIER

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ2チャンネル/4チャンネルパワーアンプM-35をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

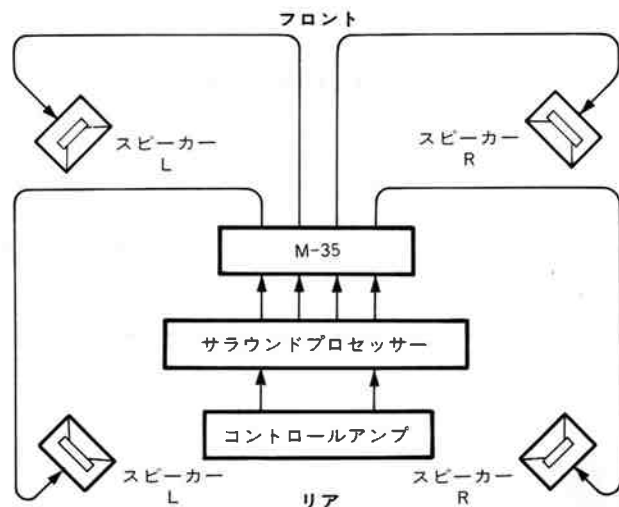
M-35の優れた性能を発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

## 特長

本機は、サラウンドシステム用として設計されたマルチチャンネルパワーアンプです。4チャンネルのアンプを内蔵しており、4台のスピーカーをそれぞれ最大20Wのパワーで駆動することができます。

また2チャンネルで使用しますと、40W+40Wのパワーアンプとなり、システムのメインアンプとしても充分にご使用いただくことができます。

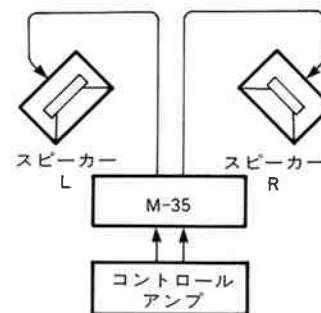
本機を4チャンネル(4 AMP)で使用する場合のシステム例



## 目次

特長	1
豊かなAVライフのために	2
各部の名称とはたらき	3
接続のしかた	5
故障かなと思ったら	7
ブロックダイアグラム	8
参考仕様	8
ヤマハホットラインサービスネットワーク	9

本機を2チャンネル(2 AMP)で使用する場合のシステム例



# 豊かなAVライフのために

高温をさけて！

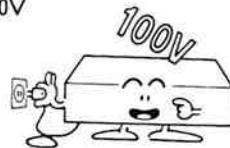


ほこり・水気をさけて！

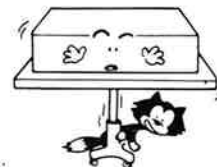


国内のみ使用可

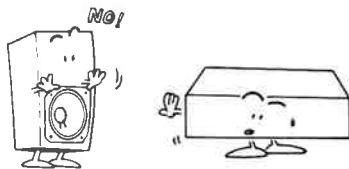
家庭用電源コンセント  
AC100V



不安定な場所をさけて！



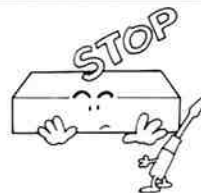
磁気・テレビはさけて！



薬物厳禁



開けないで！



引っばらないで！



こわれた？



7ページの「故障かなと思ったら」  
をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず  
保証書の手続きを行なってください。保証書  
に販売店名、購入日などがありませんと、保  
証期間中でも万一サービスの必要がある場合  
に実費をいただくことがありますので、充分  
ご注意ください。



取扱説明書はかならず  
保管してください。



ファイルなど

# 各部の名称とはたらき

## ●フロントパネル



### ① <sup>パワー</sup>POWERスイッチ

電源スイッチです。スイッチを押すと電源が入り、上のインジケーターが点灯します。もう一度押すと電源が切れます。

※電源を入れるときは、必ず入力機器側（コントロールアンプまたはサラウンドプロセッサ等）のボリュームを最小の位置にしておき、スピーカーから不用意に大きな音が出ないようにご注意ください。

※電源を入れてから数秒間は、スピーカー保護回路が働いているため、音は出ません。

### ② <sup>スピーカーズ</sup>SPEAKERSスイッチ

本機に接続されたスピーカーシステムをON/OFFするスイッチです。スイッチON (■)の状態ではスピーカーから音が出て、スイッチOFF (□)の状態ではスピーカーから音は出ません。

### ③ <sup>スピーカー</sup><sup>レベル</sup>SPEAKER LEVELツマミ

スピーカーの音量を調整するツマミで、それぞれ右(時計方向)に回すほど、音量が大きくなります。

■ **2 AMP** で使用する場合と、■ **4 AMP** で使用する場合では、次のようにツマミのはたらきが異なります。

#### ● **2 AMP** の場合

右側のツマミでR(右)スピーカーの音量を、左側のツマミでL(左)スピーカーの音量を調整できます。

※ツマミは通常、右に回しきった位置(°0°)にセットしておき、音量調整はコントロールアンプ側のボリュームで行ないます。

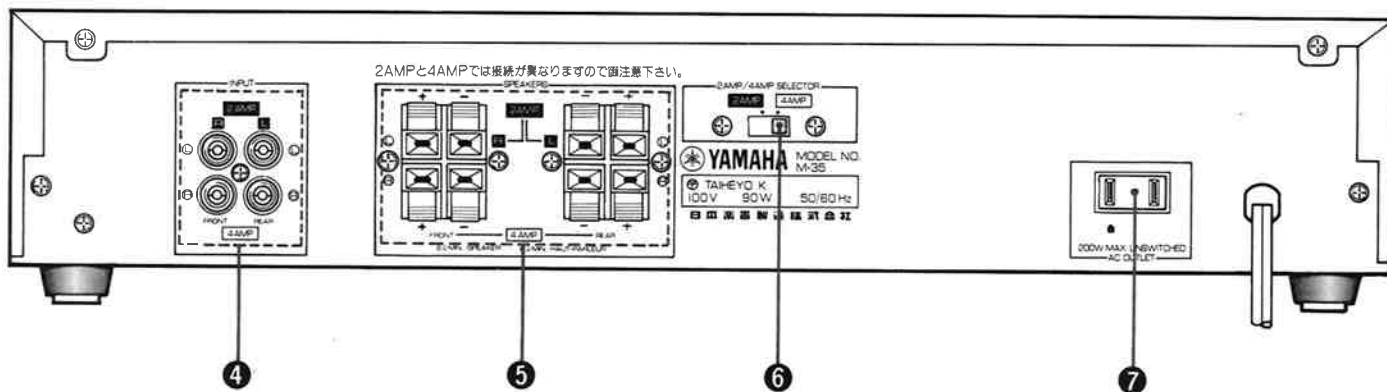
#### ● **4 AMP** の場合

右側のツマミでFRONT(前)スピーカーの音量を、左側のツマミでREAR(後)スピーカーの音量を調整できます。

※ **4 AMP** の場合、本機で左右のバランス調整はできませんので、コントロールアンプ側で行なってください。

※ツマミは通常、右に回しきった位置(°0°)にセットしておきます。ただし前後のバランス調整が必要な時は、ツマミを左に回して調整してください。全体の音量調整はコントロールアンプ側のボリュームで行ないます。

## ●リアパネル



### ④ INPUT 端子

コントロールアンプまたはサラウンドプロセッサ等を接続する入力端子です。  
**2 AMP** で使用する場合と **4 AMP** で使用する場合で、接続方法が異なります。  
 ※P.5の“接続のしかた”を参照してください。

### ⑤ SPEAKERS 端子

スピーカーを接続する端子です。  
 INPUT端子同様、**2 AMP** で使用する場合と **4 AMP** で使用する場合で、接続方法が異なります。  
 ※P.5の“接続のしかた”を参照してください。

### ⑥ 2 AMP / 4 AMP SELECTOR スイッチ

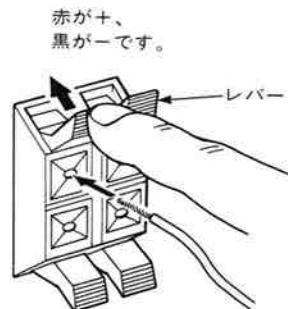
本機を2チャンネルで使用する場合はこのスイッチを“**2 AMP**”に、4チャンネルで使用する場合は“**4 AMP**”にセットしてください。

### ⑦ AC OUTLET

他のオーディオ機器へ電源を供給する予備コンセントです。  
 本機のPOWERスイッチのON/OFFに関係なく、最大200Wまで供給できます。

### ——スピーカーの接続——

- ①スピーカーコードの先端の絶縁を10mmぐらいはがしてください。
- ②図のように端子穴の上のレバーを押しながら、スピーカーコードの芯線部分を差し込み、レバーを離すとコードはしっかりとロックされます。



※極性が合っていない場合、音が中央に定位せず、ステレオ感のない低音のそこなわれた不自然な再生音となってしまいますのでご注意ください。

※接続するスピーカーは指定のインピーダンスの範囲内(6~16Ω)のものをご使用ください。

※接続の際スピーカーコードの露出部分が他の端子に接触しないようにご注意ください。

スピーカーコードはできるだけ短く配線してください。

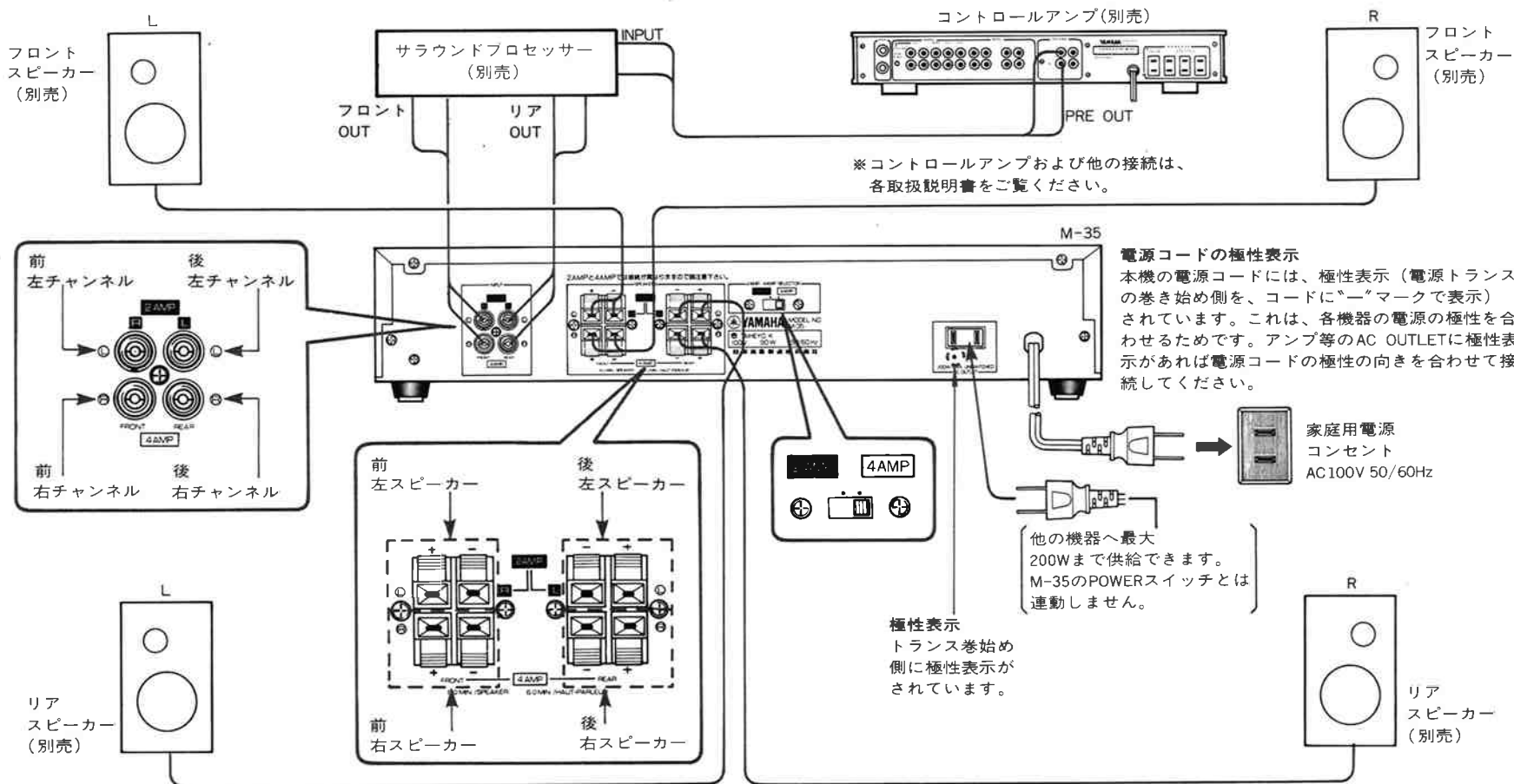
# 接続のしかた

※接続の際は各機器の電源を切り、FRONT(前)、REAR(後)、L(左チャンネル)、R(右チャンネル)を確認して、正しく接続してください。

※2チャンネル( **2 AMP** )で使用する場合と、4チャンネル( **4 AMP** )で使用する場合は、接続方法および操作方法が異なりますのでご注意ください。

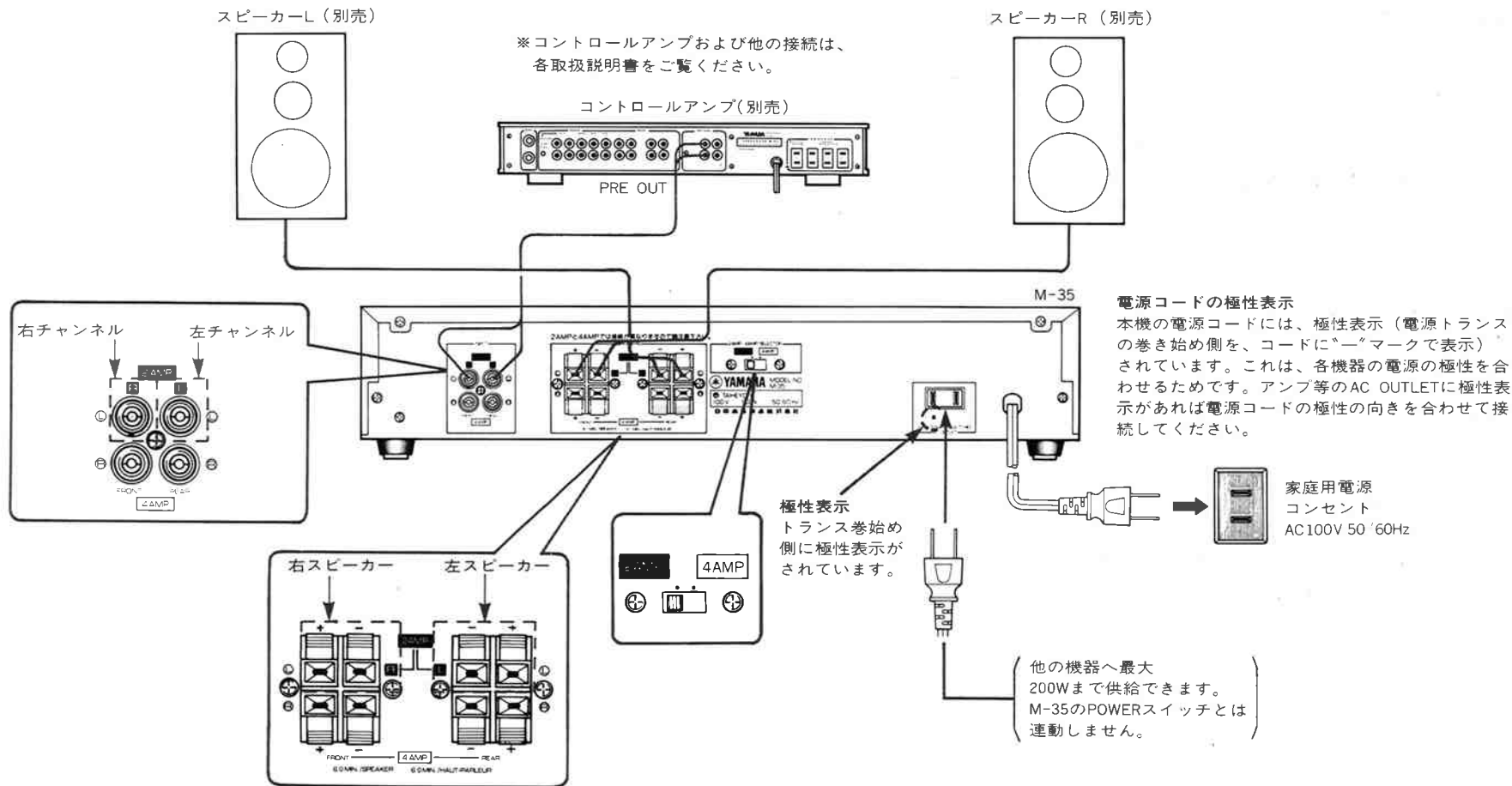
## 4チャンネルのパワーアンプとして使用する場合

1. 本機の2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチを **4 AMP** に切り換えてください。
2. サラウンドプロセッサのフロントOUT/リアOUT端子と、本機の **INPUT** 端子を接続してください。
3. スピーカーを本機の **SPEAKERS** 端子に接続してください。



## 2チャンネルのパワーアンプとして使用する場合

1. 本機の2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチを **2AMP** に切り換えてください。
2. コントロールアンプの **PRE OUT** 端子と本機の **INPUT** 端子を接続してください。
3. スピーカーを本機の **SPEAKERS** 端子に接続してください。



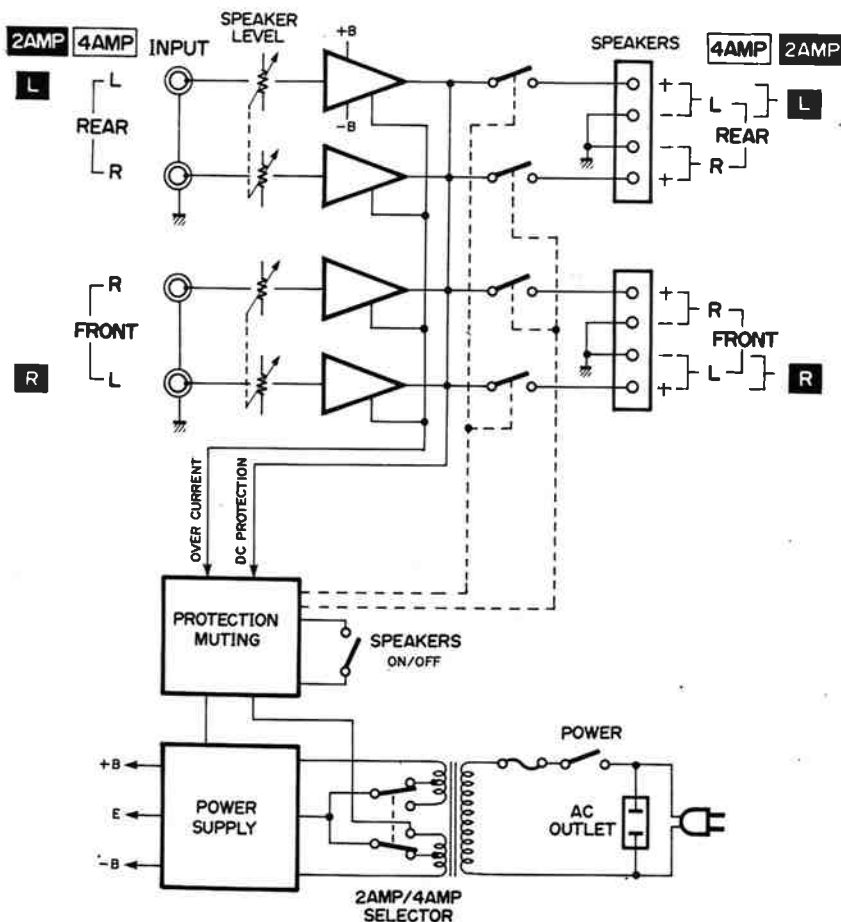
# 故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ・サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源コードのプラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込みなおしてください。
音が全く出ない。	SPEAKERSスイッチがOFFになっている。	SPEAKERSスイッチをONにしてください。
	SPEAKER LEVELつまみが絞られている。	SPEAKER LEVELつまみを右(時計方向)に回してください。
	入力端子のピンプラグが確実に差し込まれていない。	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。
	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
前後、左右のスピーカーあるいは前後、左右いづれかのスピーカーから音が出ない。	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
	SPEAKER LEVELつまみが絞られている。	SPEAKER LEVELつまみを右(時計方向)に回してください。
	<b>4 AMP</b> として使用している場合で、2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチが <b>2 AMP</b> になっている。	2 AMP/4 AMP SELECTORスイッチを <b>4 AMP</b> に切り換えてください。
<b>4 AMP</b> として使用している場合で、左右の音量バランス調整ができない。	<b>4 AMP</b> として使用している場合、本機では、左右の音量バランス調整はできません。	コントロールアンプ側で、左右のバランス調整を行なってください。
低音のない不自然な再生音で、音像が安定しない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)が合っていない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)を合わせて接続しなおしてください。
“ブーン”というハム音が入る。	ピンプラグの接続不良。	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。



# ブロックダイアグラム



# 参考仕様

## 定格出力

2 AMP (20Hz~20kHz)	0.05% THD, 8 Ω	40W + 40W
	0.06% THD, 6 Ω	43W + 43W
4 AMP (20Hz~20kHz)	0.07% THD, 8 Ω	20W + 20W
	0.08% THD, 6 Ω	22W + 22W

## ダイナミックパワー

2 AMP (1 kHz, 8 Ω / 6 Ω)	57W / 70W
4 AMP (1 kHz, 8 Ω / 6 Ω)	32W / 37W

## パワーバンド幅

2 AMP (0.18% THD, 20W / 8 Ω)	10Hz~50kHz
4 AMP (0.18% THD, 10W / 8 Ω)	10Hz~40kHz

## ダンピングファクター (1 kHz, 8 Ω)

70

## 入力感度/入力インピーダンス

2 AMP	1.0V / 20k Ω
4 AMP	0.7V / 20k Ω

## 周波数特性 (20Hz~20kHz)

+0  
-0.3dB

## 全高調波歪率

2 AMP (1 kHz, 20W / 8 Ω)	0.008%
4 AMP (1 kHz, 10W / 8 Ω)	0.015%

## S/N比 (IHF Aネットワーク, 入力ショート)

2 AMP	120dB
4 AMP	113dB

## チャンネルセパレーション (1 kHz, Vol. -30dB, 5.1k Ω)

2 AMP	70dB
4 AMP	55dB

## 定格電源電圧, 周波数

AC100V, 50/60Hz

## 定格消費電力

90W

## AC アウトレット (UNSWITCHED × 1)

200Wmax.

## 外形寸法 (W×H×D)

435×92.5×286.7mm

## 重量

5.0kg

※仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

# ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。  
(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

## ●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(0222)36-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(0252)43-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

日本楽器製造株式会社  
〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部  
AV事業部営業部 TEL.(0534)60-3451  
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。